

## 研修会名

平成 29 年度 保育所等マネジメント研修会

## 研修会の目的・主旨

本研修会は、保育所等における保育の質の向上のために、副主任保育士等（以下、副主任と言う。）が自身の役割を理解し、保育者集団のミドルリーダーとして、自らが行う保育業務・技術の向上とともに、他の保育士等への指導やリーダーシップを図り、円滑な組織及びチーム運営にあたるためのマネジメントの能力を身に付けることを目的に実施する。

保育所等における副主任が果たす役割は、保育内容の質の向上に加えて、「組織マネジメント」「リーダーシップ」「組織目標の設定」「人材育成」「働きやすい環境づくり」を中心に、組織及びチームの様々な課題に取り組むことが新たに求められている。

本研修会のプログラムは、副主任として、自園の現状を把握し、今ある人的・物的な資源（リソース）を活用しながら、様々な課題に向けて最善の実践をしていくための知識・技術を学ぶことができるよう構成している。

## 基本コンセプト・研修のねらい

（基本コンセプト）「副主任」や「ミドルリーダー」、それら役職の「予定者」が、保育業務を行いながら、組織目標、保育理念のもとで、チームの組織開発、若手や新人・実習生等を主な育成対象として人材育成を図ることにより、自園の保育の質の向上に繋げるためのマネジメント、リーダーシップを学ぶ。

（研修のねらい）主任保育士の下で、ミドルリーダーを担う立場に求められる役割と知識を理解し、自園の円滑な運営と保育の質を高めるために必要なマネジメントの能力を身に付ける。

## 受講対象

①保育所等の主任保育士の下でミドルリーダーの役割を担う職員（副主任・専門リーダー等）

②「①」の役割を担うことが見込まれる保育士・保育教諭

※「保育所等」とは、「認可保育所」「認定こども園」「地域型保育事業（小規模保育事業・事業所内保育事業）」を指す。

※申込み多数の場合は、上記①を優先する。

## 研修科目

①マネジメントの理解

②リーダーシップ

③組織目標の設定

④人材育成

⑤働きやすい環境づくり

## 研修の構成

1 科目あたり 3 時間とし、計 15 時間の構成とする。

研修の実施にあたっては、講義形式のほか、演習やグループ討議等を組み合わせることにより、より円滑かつ、主体的に受講者が知識や技能を修得できるよう努める。

さらに、この研修をより効果的にするために、研修修了の評価（レポート）が具体的かつ実践的な内容となるよう、事前学習（課題）の機会を設ける。この事前課題、研修、事後評価（レポート）の一連において本研修を構成し、すべてを指定どおりに提出及び受講することにより研修会の全課程を修了したものとす。

## 事前学習（課題）

研修の事前において、副主任として、「研修会で学びたいこと」「自園におけるミドルリーダー（副主任・副主任幹）の役割」「課題」「やりがい」について、主に記述形式で提出を求め、研修会への導入を行う。その他、グループ討議のグループ編成等に活用することを目的として、参加動機や担当クラス、施設規模や法人規模などのアンケートを実施する。

## 事後学習（研修修了の評価・レポート）

研修後、各科目に関する知識及び技能の習得とそれを実践する際の基本的な考え方や心得の認識を確認するものとするために、研修で学んだことや理解したことを振り返り、事前学習（課題）の内容や自らが担うこととなる保育内容及びマネジメント業務と関連付け、今後役に立つことの記載や自園に戻ってからのアクションプラン（行動計画・指標）を立てること。

## 研修の内容

研修は5科目により構成され、研修会の目的・主旨及び基本コンセプト並びに研修のねらいに基づいて、各研修の講師を選定し、また以下の方法のいずれか、又は組み合わせによって実施する。なお、各科目の講師との協議によって、より良い方法があると判断される場合には、この限りではない。

### A. 講義形式

最新情報や関連理論の入手・獲得を行い、知識の体系化・整理をねらいとする。

### B. グループディスカッション形式

実践例の紹介により、知識の体系化や講義内容の理解を深め、新しいアイデアの創出と共有することをねらいとする。

### C. ワークシート作成型ワークショップ形式

学習内容の整理と定着をねらいとし、実践に反映するために自園の状況の整理と把握、企画・計画の作成をねらいとする。

講義 No.	科目名	研修内容	進行方法	時間
1	マネジメントの理解	<p>[概要]</p> <p>保育所等の役割がますます多様化する中、主任の下でミドルリーダーの役割を担う副主任保育士・副主任幹保育教諭には、組織マネジメントを理解し、組織目標や課題・保育方針等を実現のために、組織に対して、積極的に関わることが求められている。</p> <p>本科目では、新保育所保育指針の理解を中心に、保育者の専門性を活かした、保育所における組織マネジメントのあり方について学習する。</p> <p>[学習内容]</p> <p>① 組織マネジメントの理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所および保育士の社会的責任</li> </ul>	A	3

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の目標、課題、保育方針等を具体化するための運営</li> </ul> <p>② 保育所におけるマネジメントの現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的な計画の作成と運用</li> <li>・保育士、保育所の自己評価と改善</li> </ul> <p>③ 関係法令、制度及び保育指針等についての理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所保育指針改定の背景と方向性</li> </ul> <p>④ 他専門機関との連携・協働 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他専門職や保護者との関係づくり</li> </ul>		
2	リーダーシップ	<p>[概要]</p> <p>職員同士が連携・協働することにより、学び合う組織文化を作っていくこと、また、それを支援していくことは、保育の質の向上や保障に繋がるとの研究が明らかになっている。その実現のためには、従来の階層的リーダーシップから、協働分散型リーダーシップによる関わりが効果的と考えられ、それぞれの専門性が活かされる場や研修の場づくり必要となってきた。</p> <p>本科目では、国内外のリーダーシップに関する調査研究等の報告を踏まえ、リーダーシップとマネジメントの理解を整理することで、保育所等におけるリーダーシップのあり方について学習する。</p> <p>[学習内容]</p> <p>① 保育所におけるリーダーシップの理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の質の保障とリーダーシップの重要性</li> <li>・分散型リーダーシップの理解</li> </ul> <p>② 職員への助言・指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・求められる資質と具体的な行動</li> <li>・保育者の専門性の成長プロセスと組織から求められる役割</li> </ul> <p>③ 他職種との協働 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の他専門職との連携</li> <li>・専門機関や公的機関、地域の資源の活用</li> </ul>	A B	3
3	組織目標の設定	<p>[概要]</p> <p>施設長や主任等に続く役職としてのミドルリーダーには、保育の専門性に加え、管理性が問われはじめるため、保育理念や共通目標の元で、個々の役割とともに、共通の役割を常に自覚しながら、役割を果たすことが求められている。</p> <p>本科目では、自園の保育理念と目標を意識化し、組織としての保育力を高めるための組織目標の設定と課題の抽出、解決策の検討について学習する。</p> <p>[学習内容]</p> <p>① 組織における課題の抽出及び解決策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解決すべき課題の抽出の意義</li> <li>・課題解決の基盤となる組織内コミュニケーションとチームワーク</li> </ul> <p>② 組織目標の設定と進捗管理 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織目標設定の意義とミドルリーダーの役割</li> <li>・保育理念及び保育目標、計画に基づく課題の設定と進捗管理</li> </ul>	A C	3

4	人材育成	<p><b>【概要】</b></p> <p>保育理念を実現し、豊かな保育実践をするためには、保育者の専門性の向上が重要であり、施設長や他の保育者と連携・協働することが求められている。また、「保育」のリーダーとして他の保育者を育成する立場を認識し、園内研修の企画・実施のほか、若手保育者や実習生に対しては、保育業務中の育成やかかわりが必要となってくる。</p> <p>本科目では、職員の資質向上を図ることを目指し、現在の保育所の業務や育成の現状を踏まえ、施設内研修の手法や日常の具体的なかかわりを学習する。</p> <p><b>【学習内容】</b></p> <p>① 職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新保育所保育指針第五章の理解</li> <li>・保育業務と育成の現状</li> </ul> <p>② 施設内研修の考え方と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等における施設内研修の手立て</li> <li>・具体的なかかわりの手法</li> </ul> <p>③ 保育実習への対応 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習指導および若手育成の手立て</li> </ul>	A C	3
5	働きやすい環境づくり	<p><b>【概要】</b></p> <p>少子高齢化問題や過労死等の社会問題から、働きやすい環境づくりに積極的に取り組むことが求められている。また、保育人材の確保は全国的に困難さが高まっており、国においては、保育人材の確保に向けた総合的対策が行われる中、同時に、保育所等においては、定着率の向上や保育者としての職業継続に貢献することが重要と考えられる。</p> <p>本科目では、社会的な背景と保育所や保育者を取り巻く現状を理解し、働きやすい環境づくりの事例を踏まえ、自園での活用方法を検討する。さらに、保育所におけるコミュニケーションの構造を理解し、より良い人間関係のもとで保育業務を行える環境づくりについて学習する。</p> <p><b>【学習内容】</b></p> <p>① 雇用管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働きやすい環境づくりの背景と保育士を取り巻く現状</li> <li>・保育所等におけるコミュニケーション（対話）</li> </ul> <p>② ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務円滑の促進と働きやすい環境づくり</li> </ul> <p>③ 職員のメンタルヘルス対策 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケア体制の構築</li> </ul>	A B	3

## 修了証の発行条件

以下の3項目の条件を満たした方に対して、修了証を発行・発送する（目安：開催後、約1か月後。）

- ① 事前学習（課題）を指定のとおり提出すること
- ② 研修科目全てへの出席・修了をすること
- ③ 事後学習（課題）を指定のとおり提出すること

## その他

上記のとおり、保育所等マネジメント研修を実施することとする。なお、研修の内容は、社会一般的に通説として認識されている標準的な内容となるよう、留意すること。